

愛称：NYドリーム 三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド (為替ヘッジ型)

マンスリーレポート

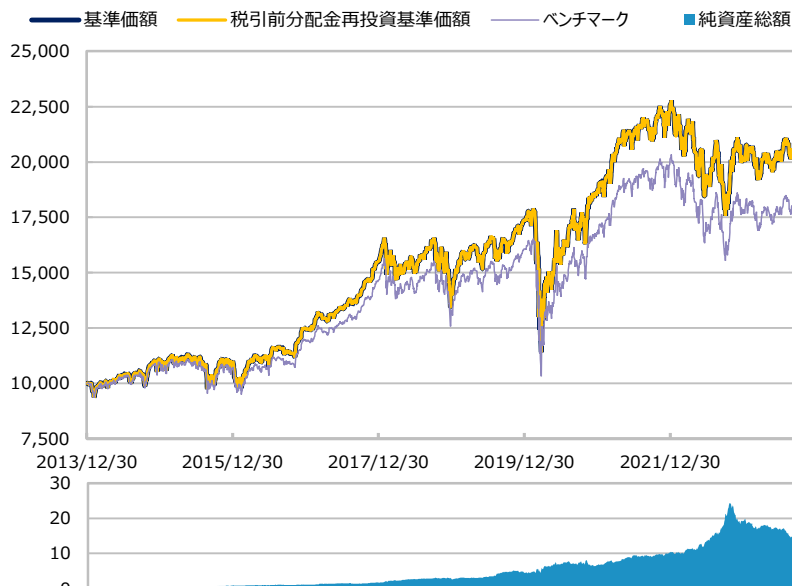
【投信協会商品分類】追加型投信/海外/株式/インデックス型

作成基準日：2023年09月29日

ファンド設定日：2014年01月06日

日経新聞掲載名：NYドリーム有

基準価額・純資産総額の推移 (円・億円)



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。
- ベンチマークは、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ヘッジ換算ベース) です。ファンド設定日を10,000とした指数を使用しています。詳細は後述の「ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額 (円)	19,774	-819
純資産総額 (百万円)	1,315	-164

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率 (税引前分配金再投資) (%)

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1 カ月	2023/08/31	-4.0	-4.0
3 カ月	2023/06/30	-2.6	-3.0
6 カ月	2023/03/31	0.1	-0.5
1 年	2022/09/30	10.5	9.4
3 年	2020/09/30	17.2	13.6
設定来	2014/01/06	97.7	73.0

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績 (税引前) (円)

期	決算日	分配金
第5期	2018/11/05	0
第6期	2019/11/05	0
第7期	2020/11/05	0
第8期	2021/11/05	0
第9期	2022/11/07	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
株式	98.9	+1.0
先物等	3.7	+0.5
現金等	-2.6	-1.5
合計	100.0	0.0
為替ヘッジ比率	99.5	+0.6

※ 為替予約の邦貨換算を外貨建資産の邦貨換算額で除して算出しています。

運用概況

当月末の基準価額は、19,774円 (前月比-819円) となりました。
また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、-4.0%となり、ベンチマークの月間騰落率は-4.0%となりました。
なお、当月末の為替ヘッジ比率は99.5%となりました。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド
(為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2023年09月29日

市場動向

ダウ・ジョーンズ工業株価平均



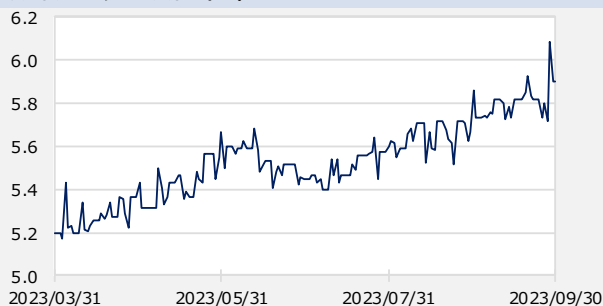
当月末：33,507.5 前月末：34,721.9 騰落率：-3.5%

円/アメリカドル (円)



当月末：149.6 前月末：146.2 騰落率：2.3%

アメリカドルヘッジコスト (%)



当月末：5.90% 前月末：5.86% 変化幅：0.04%

- ※ DataStream等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。
- ※ インデックス等は注記がある場合を除き、原則として現地通貨ベースで表示しています。
- ※ 為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値 (TTM) です。
- ※ ヘッジコストは該当通貨の対円のスポットレートと1ヵ月物フォワードレートをを用いて算出し年率換算した値です。

基準価額の変動要因 (円)

	計	インカム	キャピタル
株式	-697	+21	-717
先物等	-18	0	-18
為替	-92	-	-
分配金	0	-	-
その他	-13	-	-
合計	-819	+21	-735

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

組入上位10業種 (%)

	当月末	前月比
1 資本財	14.5	-0.4
2 金融サービス	13.7	+0.1
3 ソフトウェア・サービス	12.8	-0.0
4 医薬品・バイオテクノロジー	10.3	+0.5
5 ヘルスケア機器・サービス	9.9	+0.8
6 一般消費財・サービス流通・小売り	5.9	-0.2
7 消費者サービス	5.1	-0.1
8 テクノロジ・ハードウェア・機器	4.3	-0.2
9 生活必需品流通・小売り	3.6	+0.1
10 エネルギー	3.3	+0.3

※ 業種はGICS (世界産業分類基準) による分類です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド
(為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2023年09月29日

組入上位10銘柄 (%)

(組入銘柄数 30)

銘柄	国・地域/業種	比率	コメント
1	アメリカ ヘルスケア機器・サービス	9.9	管理医療会社。従業員厚生給付プログラムを計画、管理用商品やリソースを提供。米国高齢者層を対象とした専門介護分野では、プロバイダーや費用の支払業者に向けたヘルスケア情報の提供、調査も手掛ける。
2	アメリカ 金融サービス	6.3	世界最大級の金融グループ。投資銀行、証券業務のほか、トレーディング、資産管理サービスなどを世界的に提供する。民間企業、金融機関、政府、資産家などを対象にサービスを提供。
3	アメリカ ソフトウェア・サービス	6.1	WindowsやOfficeを提供する世界最大級のソフトウェア会社。新経営陣がOS無償化やクラウド事業に注力しておりアマソンのAWS (Amazon Web Services) に次ぐシェアを獲得している「Microsoft Azure」に注目。
4	アメリカ 一般消費財・サービス流通・小売り	5.9	建築資材およびリフォーム用品を手掛ける小売チェーン。多岐にわたる建築資材、ガーデニング関連用品、および各種サービスを提供する。米国、カナダ、メキシコ、中国などで事業を展開する。
5	アメリカ 資本財	5.3	重機メーカー。建設、鉱業、農業、林業向け機械の設計・製造・販売を手掛けるほか、同機械用エンジンおよび部品も製造する。世界に広がるディーラー網を通じて製品を販売。
6	アメリカ 医薬品・バイオテクノロジー	5.2	独立系のバイオ医薬品メーカー。主に重病の治療薬の発見、開発、製造、販売を手掛ける。細胞生物学と分子生物学の研究に注力し、新薬の開発に取り組んでいる。
7	アメリカ 消費者サービス	5.1	ファーストフードチェーン。世界中でフランチャイズレストランを運営する。メニューの刷新、店舗リノベーション、モバイルオーダーの導入などが成長ドライバー。配当や自社株買いを通じた株主還元にも積極的。
8	アメリカ 金融サービス	4.5	クレジットカード会社。小売り電子支払ネットワーク事業とグローバルな金融サービスを手掛ける。金融機関、商店、消費者、企業、政府機関などが相互に行う決済ネットワークやデータの転送サービスを通して、グローバルな商取引を提供する。
9	アメリカ ソフトウェア・サービス	3.9	CRM (顧客管理システム) ソリューション提供企業大手。SaaS (必要な機能を必要な分だけサービスとして利用できるようなソフトウェア) タイプの本格的なクラウドコンピューティング・サービスを業界で初めて提供した会社。
10	アメリカ 資本財	3.7	航空機メーカー。商業用ジェット旅客機を開発・製造し、世界の民間航空会社に提供する。軍用の飛行機、ヘリコプター、衛星、ミサイルなどを含む情報・宇宙・軍事関連システムの研究、開発、製造、修理、サポートも手掛ける。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド
(為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2023年09月29日

組入上位11～20銘柄 (%)

銘柄	国・地域/業種	比率	コメント
11	ハネウェル・インターナショナル アメリカ 資本財	3.6	航空機エンジン、飛行安全、着陸システムから、商業ビルのスマートコントロール、ガスマスクやフットウェアなどの個人用安全製品まで、製造・販売しているコングロミラット企業。世界各地で事業を展開。
12	アップル アメリカ テクノロジー・ハードウェア・機器	3.3	パソコン、スマートフォンなどを開発、製造するデジタル家電製品メーカー。iPhone、iPad、パソコンのMacシリーズなど人気製品の他に、関連ソフトウェアや周辺機器の開発、製造、販売を手掛ける。
13	シェブロン アメリカ エネルギー	3.3	世界的総合エネルギー会社。石油・天然ガスの生産、輸送のほか、燃料の精製、販売、供給や、化学事業、発電、エネルギーサービスも手掛ける。
14	トラベラーズ アメリカ 保険	3.2	保険会社。企業、政府、組合、個人を対象に商業および個人用損害保険商品とサービスを提供する。
15	ウォルマート アメリカ 生活必需品流通・小売り	3.1	世界最大のスーパーマーケットチェーン。ディスカウントストアとスーパーマーケットでは、アパレル、家庭用品、小型家電、エレクトロニクス製品類などを提供。米国をはじめ世界各国で事業を展開する。
16	ジョンソン・エンド・ジョンソン アメリカ 医薬品・バイオテクノロジー	3.0	製薬会社。医薬品、医療器具、手術機器、ヘルスケア製品および関連サービスなどを世界各地で販売する。
17	アメリカン・エキスプレス アメリカ 金融サービス	2.9	クレジットカード会社。資金決済と旅行業を手掛ける。世界の個人顧客と企業向けにクレジットカードと旅行関連サービスを提供する。
18	JPMorgan・チェース・アンド・カンパニー アメリカ 銀行	2.9	世界有数の金融サービス会社。国際的金融サービスおよびリテール銀行業務に従事。サービスには、投資銀行業務、トレジャリーサービス、証券サービス、資産管理、プライベートバンキング、カード会員サービス、商業銀行業務などがある。
19	プロクター・アンド・ギャンブル アメリカ 家庭用品・パーソナル用品	2.8	国際的な家庭用化学品メーカー。主な製品は、洗剤、清掃液、紙、美容品、食品・飲料、ヘルスケア用品など。販売先は、量販店、食料・日用品店、会員制ストア、薬局、個人商店など。
20	IBM アメリカ ソフトウェア・サービス	2.7	コンピューター・ソリューションを提供するIT会社。主にテクノロジー、システム、製品、サービス、ソフトウェア、資金調達などを対象とする。グローバルな販売・流通組織と多岐にわたる外部流通業者・再販会社を通じて、製品を販売する。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド
(為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 海外 / 株式 / インデックス型

作成基準日：2023年09月29日

組入上位21～30銘柄 (%)

銘柄	国・地域/業種	比率	コメント
21	メルク アメリカ 医薬品・バイオテクノロジー	2.0	医薬品メーカー。人間および家畜用の幅広い医薬品の開発、製造、販売に従事する。主要製品には、がん治療薬をはじめ、糖尿病治療薬、HPVワクチン、肺炎球菌ワクチンなどがある。
22	3M アメリカ 資本財	1.8	電気素材メーカー。電子、通信、工業、消費・オフィス関連、ヘルスケア、保安など幅広い分野の製品を手掛ける。各部門はテクノロジー、製造設備、ブランド名、販売網、その他の資源を全社的に共有し、世界で事業を展開する。
23	ナイキ アメリカ 耐久消費財・アパレル	1.7	運動靴を中心とするスポーツ用品会社。男性、女性、子供向けに、スポーツ用の靴、衣料、機器、アクセサリーのデザイン、開発、販売を手掛ける。製品は、小売店、自社店舗、子会社、流通業者を通して世界で販売される。
24	ウォルト・ディズニー アメリカ メディア・娯楽	1.6	エンターテインメント会社。スタジオ・エンターテインメント、テーマパークリゾート、消費者向け商品などの事業を手掛ける。映画・テレビ番組・レコーディング商品の製作をはじめ、書籍・雑誌の発行にも従事する。
25	コカ・コーラ アメリカ 食品・飲料・タバコ	1.1	大手清涼飲料メーカー。炭酸飲料を中心にソフトドリンクを製造し、米国中心に200を超える国々の小売店、卸売業者へ製品を供給する。「コカ・コーラ」や「ダイエット・コーク」など有名炭酸飲料ブランドを保有している。
26	シスコシステムズ アメリカ テクノロジー・ハードウェア・機器	1.0	データネットワーク製品メーカー。データセンター向けのイーサネットスイッチやルーターでは業界リーダー。キャリア向けに加え、サービスプロバイダー、エンタープライズなどのクラウド投資が成長のドライバー。
27	ダウ アメリカ 素材	1.0	米国をはじめ世界各国で事業を展開する化学メーカー。建材、断熱材等のインフラ向け素材や食品、化粧品等の消費財用包装事業などを手掛ける。
28	インテル アメリカ 半導体・半導体製造装置	0.7	半導体メーカー。コンピューター部品や関連製品を手掛ける。製品にはマイクロプロセッサ、チップセット、組み込みプロセッサ、マイクロコントローラー、フラッシュメモリー、グラフィックス、ネットワーク・通信関連などがある。
29	ベライゾン・コミュニケーションズ アメリカ 電気通信サービス	0.6	総合電話・通信会社。音声・データのサービス、ワイヤレスサービス、インターネットサービスなどを手掛ける。連邦政府向けに業務用電話回線・データサービス、電話通信設備、公衆電話などのサービスを提供する。
30	ウォルグリーン・ブーツ・アライアンス アメリカ 生活必需品流通・小売り	0.4	米国を代表する薬局チェーン。処方薬や非処方薬、健康・美容製品、雑貨等を販売する小売ドラッグストアを展開するとともに、薬局・病院・診療所向けの卸売サービスも提供している。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド (為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2023年09月29日

※ このページは「米国株式指数マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

<市場動向>

米国株式市場は下落しました。雇用統計など景気指標が堅調で利上げ打ち止め期待が徐々に後退し、長期金利（10年国債利回り）の上昇が株式市場の重石となりました。FOMC（米連邦公開市場委員会）では利上げは見送られましたが、更なる利上げ余地を残す見通しが示され、下落要因になりました。またガソリン価格の上昇により、今後の物価動向や消費への影響も意識される局面もありました。業種では金利上昇で不動産関連銘柄の下落が目立ちました。また中国での米アップル製品の一部使用禁止措置や台湾セミコンダクター（TSMC）の保守的な需要見通しなどを受けて、半導体関連などのIT銘柄の株価も軟調でした。

米ドル/円は、米ドル高・円安となりました。日本の政府高官から円安けん制発言が相次ぎ、政府・日銀による為替介入が警戒されましたが、米金利高を受けた日米金利差拡大や日米の金融政策の姿勢の違いから、米ドル高・円安基調が継続しました。

<運用経過>

ベンチマークであるダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース）（以下NYダウ）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。実質株式組入比率を高位に保ち、NYダウの構成比率に沿った株式ポートフォリオを構築することにより、当指数への連動率向上に努めました。

<市場見通し>

米国株式市場は、目先はレンジ推移を予想します。高金利と堅調な景気や企業収益の回復により、一進一退の動きが続きそうです。足元では、業績が製造業など一部で停滞しているものの、企業収益に対する見方は徐々に改善しています。その後は、利上げ打ち止め期待の高まりとともに、業績への見方やバリュエーション（投資価値評価）が改善し、株式市場のレンジは緩やかに切り上がる動きが期待できます。

米ドル/円は、堅調な米景気やインフレ抑制に向けたFRB（米連邦準備制度理事会）の引き締め姿勢の継続が米ドルの上昇要因となる一方、日銀の政策修正観測や政府・日銀による介入警戒感が円の下落幅を抑制することから、年内は高値水準でもみ合う展開を予想します。来年にかけては、インフレ鈍化と景気減速が浸透して米金利が低下していくと想定され、緩やかに米ドル安・円高に向かう展開を予想します。ただし、日銀の緩和的な姿勢は残るとみられることから、円の上昇幅は限定的となる見通しです。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

愛称：NYドリーム

マンスリーレポート

三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド (為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2023年09月29日

※ このページは「米国株式指数マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜今後の方針＞

引き続き、ベンチマークであるNYダウに連動する投資成果を目指して運用を行います。実質株式組入比率を高位に保ち、NYダウの構成比率に沿った株式ポートフォリオを構築することにより、当指数への連動率向上に努めます。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド (為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2023年09月29日

ファンドの特色

1. 米国株式指数マザーファンドへの投資を通じて、実質的にダウ・ジョーンズ工業株価平均（以下、「NYダウ」ということがあります。）の構成銘柄に投資することにより、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
 - 株価指数先物取引や上場投資信託証券等を活用する場合があります。ベンチマークであるダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ヘッジ換算ベース）は、委託会社が前日のNYダウ（米ドルベース）の変化率に、円ヘッジ効果を勘案のうえ計算した値です。
 2. 実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

【為替ヘッジにより、円高が基準価額に与える影響は限定的です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けますが、原則として対円での為替ヘッジを行うため、その影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。なお、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。また、需給要因等によっては金利差相当分以上にヘッジコストがかかる場合があります。

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。



三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド (為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2023年09月29日

投資リスク

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
 - 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
 - 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いますが、以下の要因等により、対象インデックスの動きに連動しないことがあります。
 - ・有価証券売買時のコスト、信託報酬やその他のファンド運営にかかる費用を負担すること
 - ・追加設定・一部解約により組入有価証券の売買のタイミング差が生じること
 - ・インデックス構成銘柄と組入有価証券との誤差が影響すること
 - ・利用可能な指数先物と対象インデックスの動きに不一致が生じること
 - ・組入銘柄の配当金を受け取ること（対象インデックスは配当金を含まない指数です。）
 - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

愛称：NYドリーム
三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド
(為替ヘッジ型)

マンスリーレポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2023年09月29日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

信託期間

2023年11月6日まで（2014年1月6日設定）

決算日

毎年11月5日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下に当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨークの取引所の休業日

スイッチング

販売会社によっては、「為替ヘッジ型」および「為替ノーヘッジ型」の間でスイッチングを取り扱う場合があります。また、販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド (為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2023年09月29日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に**2.20% (税抜き2.00%) を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に**年0.748% (税抜き0.68%)**の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただけます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： https://www.smd-am.co.jp コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド
(為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2023年09月29日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
スター証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第99号	○		○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第3号	○					
株式会社筑波銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第44号	○					
足利小山信用金庫	登録金融機関 関東財務局長（登金）第217号						
あぶくま信用金庫	登録金融機関 東北財務局長（登金）第24号						
尼崎信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第39号	○					
新井信用金庫	登録金融機関 関東財務局長（登金）第241号						
愛媛信用金庫	登録金融機関 四国財務局長（登金）第15号						
大川信用金庫	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第19号						
大阪シティ信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第47号	○					
大阪信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第45号						
帯広信用金庫	登録金融機関 北海道財務局長（登金）第15号						
柏崎信用金庫	登録金融機関 関東財務局長（登金）第242号						
川崎信用金庫	登録金融機関 関東財務局長（登金）第190号	○					
京都中央信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第53号	○					
京都北都信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第54号						
桐生信用金庫	登録金融機関 関東財務局長（登金）第234号						
桑名三重信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第37号						
興能信用金庫	登録金融機関 北陸財務局長（登金）第19号						
神戸信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第56号						
湖東信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第57号						
滋賀中央信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第79号						
しのめ信用金庫	登録金融機関 関東財務局長（登金）第232号						
芝信用金庫	登録金融機関 関東財務局長（登金）第158号						
須賀川信用金庫	登録金融機関 東北財務局長（登金）第38号						
瀬戸信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第46号	○					
大地みらい信用金庫	登録金融機関 北海道財務局長（登金）第26号						
高松信用金庫	登録金融機関 四国財務局長（登金）第20号						※1
玉島信用金庫	登録金融機関 中国財務局長（登金）第30号						
千葉信用金庫	登録金融機関 関東財務局長（登金）第208号						
東春信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第52号						

備考欄について

※1：ネット専用

三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド
(為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2023年09月29日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
富山信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第27号					
長野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第256号	○				
長浜信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第69号					
西尾信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第58号	○				
西中国信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第29号					
はくさん信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第35号					
八幡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第60号					
浜松磐田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第61号					
飯能信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第203号					
備前日生信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第40号					
兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第81号	○				
福岡ひびき信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第24号	○				
福島信用金庫	登録金融機関	東北財務局長（登金）第50号					
大和信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第88号	○				
横浜信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第198号	○				

ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項

- 「Dow Jones Industrial Average™」（以下「ダウ・ジョーンズ工業株価平均」といいます。）は、S&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（以下「SPDJI」といいます。）の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。Standard&Poor's®およびS&P®は、Standard & Poor's Financial Services LLC（以下「S&P」といいます。）の登録商標で、Dow Jones®は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（以下「Dow Jones」といいます。）の登録商標です。当ファンドはSPDJI、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、当ファンドへの投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、ダウ・ジョーンズ工業株価平均のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド (為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式／インデックス型

作成基準日：2023年09月29日

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

